

小テスト第2回となるはずだったもの

名前 ()

1 次の説明にあう言葉を下の語群から選び、記号で答えなさい。

(1) 数直線上で 0 が対応している点 (2) 加法

(3) $4 + 9 - 3$ という式において、 $+4$, $+9$, -3 のこと

語群

ア. 負の数 イ. 絶対値 ウ. 原点 エ. たし算 オ. かけ算
カ. ひき算 キ. 原点 ク. 項

2 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $4, 5$ (2) $-\frac{3}{8}, -\frac{5}{8}$ (3) $+6, -9, 0$

3 絶対値が 2 以上 5 未満の整数はいくつありますか。

4 次の計算をしなさい。

(1) $20 - (-13)$ (2) $-11 + 5$ (3) $-7.8 + 4.8$

(4) $-6.3 - 1.8$ (5) $\frac{2}{3} - \frac{5}{6}$ (6) $-\frac{5}{7} - \left(-\frac{3}{4}\right)$

(7) $-8 + 7 - 9$ (8) $-16 - (-14) + 8$ (9) $24 - 15 - 22 + 13$

(10) $12 + (-31) - 45 - (-31)$

5 a が正の数、 b が負の数のとき、いつでも成り立つ関係を、次のア～エから選びなさい。

ア. $a + b$ は 0 になる。

イ. $a - b$ は正の数になる。

ウ. $a - b$ は負の数になる。

エ. $3 + a$ は $3 + b$ より小さくなる。